

看護学生向け 《選択問題》 【産科】

23. 産科をとりまく環境について正しいのはどれか

- a. 出産年齢は低下している
- b. 分娩数は20年前よりも増加している
- c. 20歳代の喫煙率は低下している
- d. 10年前に比べて性感染症は半減している
- e. 若年女性のやせの比率が増加している

正解 d

24. 遺伝カウンセリングについて正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 出生前診断は含まれない
- b. クライアントの自己決定を尊重する
- c. 倫理的・社会的問題を含むことが多い
- d. 我が国では専門家が多く、体制が整備されている
- e. カウンセラーは自分の考えを相談者に対して積極的に伝える

正解 b, c

25. 正しいのはどれか。

- a. 羊水検査にはリスクはない
- b. 超音波検査は出生前診断ではない
- c. 新生児の染色体異常では18トリソミーが最も多い
- d. 胎児の染色体異常の頻度と母体年齢とは関連が無い
- e. 着床前診断には体外受精・胚移植による妊娠が必要である

正解 e

26. 妊娠検査に用いるホルモンはどれか。

- a. 卵胞ホルモン
- b. 黄体ホルモン
- c. 黄体化ホルモン
- d. 卵胞刺激ホルモン
- e. ヒト絨毛性ゴナドトロピン

正解 e

27. 先天異常を予防するのに効果があるのはどれか。

- a. ビタミン A
- b. ビタミン C
- c. ビタミン E
- d. 葉酸
- e. ビタミン K

正解 d

28. 子宮外妊娠で最も頻度が多いのはどれか

- a. 卵管間質部妊娠
- b. 卵管膨大部妊娠
- c. 卵巣妊娠
- d. 腹腔妊娠
- e. 頸管妊娠

正解 b

29. 子宮外妊娠について正しいのはどれか

- a. 年齢とともに頻度が増加する。
- b. 全妊娠の約 10%を占める。
- c. 治療法は手術療法のみである。
- d. 腹膜妊娠の頻度が最も多い。
- e. 性感染症とは関連しない。

正解 a

30. 流産について正しいのはどれか。

- a. 流産の発生頻度は約 3%である。
- b. 初期流産の原因は母体栄養不良である。
- c. 流産の頻度は母体年齢の上昇で増加する。
- d. 流産の定義は妊娠 28 週未満の妊娠の中絶である。
- e. 人工流産（人工妊娠中絶）には原則、夫の同意は必要ない。

正解 c

31. 妊娠 32 週で分娩に至った場合どのように呼ぶか。

- a. 流産
- b. 早産
- c. 正期産
- d. 過期産
- e. 人工妊娠中絶

正解 b

32. 分娩予定日が最も不正確なのはどれか。

- a. 基礎体温から推計した分娩予定日
- b. LH サージから推計した分娩予定日
- c. 妊娠 10 週での胎児頭殿長からの分娩予定日
- d. 妊娠 20 週での胎児大横径からの分娩予定日
- e. 体外受精・胚移植を行った場合の分娩予定日

正解 d

33. Naegele 概算法を用いて最終月経が 2012 年 1 月 1 日の場合の分娩予定日を求めなさい。

- a. 2012 年 8 月 8 日
- b. 2012 年 9 月 8 日
- c. 2012 年 10 月 8 日
- d. 2012 年 11 月 8 日
- e. 2012 年 12 月 8 日

正解 c

34. 胎盤について正しいのはどれか。

- a. 母体面を卵膜が覆う
- b. 母体血と臍帯血が混ざり合う
- c. 重さは児の体重の約半分である
- d. 一般に薬物は胎児側へ通過しない
- e. 母体からの免疫を逃れるようになっている

正解 e

35. 胎盤を通過する免疫グロブリンはどれか

- a. IgA
- b. IgD
- c. IgE
- d. IgG
- e. IgM

正解 d

36. 臍帯について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 臍帯の静脈は1本である
- b. 臍帯付着は辺縁付着が最も多い
- c. 臍帯の長さは平均1mほどである
- d. 臍帯付着部はどこであっても問題ない
- e. 臍帯血管の周囲をワルトン膠質が覆っている

正解 a, e

37. 羊水について正しいのはどれか。

- a. 混濁している
- b. 酸性を呈している
- c. 羊水吸収の主体は胎児肺である
- d. 羊水産生の主体は胎児腎臓である
- e. 羊水量は平均1.5リットルほどである

正解 d

38. 羊水の生理学的意義について誤っているのはどれか。

- a. 肺の形成を助ける
- b. 臍帯圧迫を誘発する
- c. 胎児の癒着防止を担う
- d. 胎児の四肢の発達を助ける
- e. 胎児の熱環境を一定にする

正解 b

39. 胎児の成熟について正しいのはどれか。

- a. 肺成熟が他臓器に先駆けて完成する
- b. 胎児発育遅延の場合、成熟が遅延する
- c. 肺成熟を促進する目的でインスリンを用いる
- d. 肺成熟の指標としてサーファクタント量を用いる
- e. 母体が糖尿病を合併している場合、成熟が促進される

正解 d

40. 妊娠 7 週頃の胎児造血はどこで行われるか

- a. 胎嚢
- b. 卵黄嚢
- c. 脾臓
- d. 肝臓
- e. 骨髄

正解 b

41. 胎児造血について正しいのはどれか

- a. 胎児期の赤血球は無核である
- b. 胎生期には卵黄嚢で造血が行われる
- c. 妊娠 8 週ごろから脾臓で造血が行われる
- d. 妊娠 6 カ月ごろから肝臓で造血が行われる
- e. 胎児ヘモグロビンの酸素親和性は成人より低い

正解 b

42. 胎児の生理について正しいのはどれか

- a. 臍帯血の甲状腺ホルモンは母体よりも高い
- b. 胎児の尿産生は妊娠 25 週ごろから開始する
- c. 胎盤を通過する免疫グロブリンは IgM である
- d. 胎児の嚥下運動は妊娠 30 週ごろから観察される
- e. 胎児の免疫系は成人とほぼ同程度の機能を有する

正解 a

43. 胎児循環について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 臍帯動脈は2本である
- b. 臍動脈は外腸骨動脈から分岐する
- c. 臍帯静脈の酸素濃度が臍帯動脈よりも高い
- d. 卵円孔を介して左心房から右心房へ血液が流れる
- e. 肺動脈から Botallo (ボタロ) 動脈管を介して上行大動脈へ血流が流れる

正解 a, c

44. 正しいのはどれか

- a. 放射線被ばくにより胎児死亡をきたすことはない
- b. 放射線被ばくにより精神発達に影響を及ぼすことがある
- c. 児の将来の発癌をきたす被曝量について明確な基準がある
- d. 妊娠初期に放射線被ばくがあると必ず胎児奇形を引き起こす
- e. 妊娠中に一度 CT 検査を行うと被曝の許容量を越えてしまう

正解 b

45. 母体の生理的変化について正しいのはどれか

- a. 子宮腔部の色調の変化をきたす
- b. 妊娠線ができることはまれである
- c. 妊娠中の体重増加は 5kg ほどである
- d. 妊娠3か月の子宮の大きさは成人頭大である
- e. 妊娠初期に悪心・嘔吐をきたすことはまれである

正解 a

46. 母体の生理的変化について誤っているのはどれか

- a. Hb 値は低下する
- b. 凝固能は亢進する
- c. 白血球数は増加する
- d. 循環血漿量は増加する
- e. 血小板数は著明に増加する

正解 e

47. 妊娠中の黄体ホルモンの上昇が関与していないのはどれか

- a. 血圧が軽度低下する
- b. 便秘症状がひどくなる
- c. 子宮筋の弛緩がおこりやすい
- d. 一過性に甲状腺機能が亢進する
- e. 尿路感染を引き起こしやすくなる

正解 d

48. 母体の検査値で増加するのはどれか

- a. BUN
- b. アルブミン
- c. コレステロール
- d. ヘマトクリット値
- e. 血清クレアチニン

正解 c

49. 妊婦健診で毎回行う必要がないのはどれか

- a. 血圧測定
- b. 胎児心拍確認
- c. 子宮底長測定
- d. 腹部超音波検査
- e. 尿蛋白定性検査

正解 d

50. Bishop（ビショップ）スコアの項目でないのはどれか

- a. 児頭の下降度
- b. 子宮頸管開大度
- c. 子宮頸管展退度
- d. 子宮頸管の硬度
- e. 子宮収縮の頻度

正解 e

51. Leopold（レオポルド）触診法第2段で触れるのはどれか

- a. 胎児の胎向
- b. 児頭下降度
- c. 子宮底の高さ
- d. 先進部の胎児部分
- e. 胎児下降部と骨盤腔との関係

正解 a

52. 母体死亡について正しいのはどれか

- a. 分娩前の死亡が大部分を占める
- b. 死亡の原因で多いのは感染症である
- c. 産科的塞栓症が重要な要因を占める
- d. 最近の母体死亡は年間500人ほどである
- e. 異所性妊娠（子宮外妊娠）で死亡することはない

正解 c

53. 正しいのはどれか。

- a. 分娩第1期は破水から陣痛発来までをいう。
- b. 分娩第2期は陣痛発来から児娩出までをいう。
- c. 分娩第3期は児娩出から胎盤娩出までをいう。
- d. 分娩第4期は分娩終了後から2日間をさす。
- e. 超音波検査所見を表したものをパルトグラムという。

正解 c

54. 分娩第3期はどれか

- a. 陣痛初来から子宮口全開大
- b. 子宮口全開大から児娩出
- c. 胎児の排臨から発露
- d. 児娩出から胎盤娩出
- e. 分娩終了後から2時間

正解 d

55. 分娩の3要素に含まれないのはどれか。2つ選べ。

- a. 胎盤
- b. 腹圧
- c. 乳房
- d. 軟産道
- e. 大腿骨

正解 c, e

56. 骨盤について正しいのはどれか。

- a. 骨盤腔で最も狭い部分が骨盤澗部である
- b. 骨盤分界線より上方の骨盤を小骨盤という
- c. 骨盤分界線で囲まれる面を骨盤入口部という
- d. 骨盤腔を形成する骨は仙骨と恥骨だけである
- e. 前後径で岬角中央と恥骨結合後面の最短距離を解剖学的真結合線という

正解 c

57. 産道について誤っているのはどれか

- a. 軟産道は、通過管、腔、外陰および会陰で構成される
- b. 初産婦では子宮腔部の短縮が子宮口の開大に先行する
- c. 子宮下部と子宮腔部で通過管を形成する
- d. 胎児誘導線は恥骨と仙骨の間にある
- e. 生理的収縮輪は通過管の下部に生じる

正解 e

58. 異常な陣痛はどれか

- a. 子宮口開大 2 cmで陣痛周期が 10 分
- b. 子宮口開大 5 cmで陣痛周期が 8 分
- c. 子宮口開大 5 cmで陣痛周期が 3 分
- d. 子宮口開大 8 cmで陣痛周期が 3 分
- e. 分娩第 2 期で陣痛周期が 2 分

正解 b

59. 誤っているのはどれか

- a. 産瘤は第一頭位では児の左側に生じる
- b. 矢状縫合とは大泉門と小泉門を結ぶ縫合である
- c. 胎児付属物とは胎盤、卵膜、臍帯、羊水から構成される
- d. 産道を通過する際に骨重積が起こることを頭蓋の応形機能という
- e. 胎児の頭蓋は左右の前頭骨、頭頂骨と1つの後頭骨から構成される

正解 a

60. 分娩の進行に影響を与えないのはどれか。

- a. 胎位
- b. 胎勢
- c. 胎向
- d. 陣痛
- e. 子宮頸管熟化

正解 c

61. 第2回旋はどれか。

- a. 児頭が伸展する
- b. 児頭が前方に屈曲する
- c. 後方の肩甲が膣口から娩出する
- d. 肩甲の回旋によって顔面が側方を向く
- e. 児頭の矢状縫合が骨盤の横径から前後径に一致する

正解 e

62. 胎盤娩出について正しいのはどれか

- a. 胎盤が剥離すると性器出血がなくなる
- b. 胎盤が剥離すると子宮底が一時的に上昇する
- c. 胎盤娩出のために臍帯を強く牽引することが重要である
- d. 母体面から娩出する様式を **Schultze** (シュルツ) 型という
- e. 恥骨結合上を圧迫すると臍帯が子宮内に戻る所見が胎盤の剥離徴候である

正解 b

63. 児頭が station±0 にある場合はどれか

- a. 浮動
- b. 固定
- c. 嵌入
- d. 排臨
- e. 発露

正解 c

64. 妊娠 38 週での胎児心拍モニタリングで異常所見はどれか

- a. 一過性頻脈の存在
- b. 変動一過性徐脈の存在
- c. 10 分に 1 回の子宮収縮
- d. 胎児心拍数細変動の存在
- e. 胎児心拍数基線が 135bpm

正解 b

65. Apgar (アプガ) スコアに含まれないのはどれか

- a. 呼吸
- b. 体温
- c. 心拍数
- d. 筋緊張
- e. 刺激に対する反応

正解 b

66. 新生児の異常な呼吸のサインでないのはどれか

- a. 呻吟
- b. 鼻翼呼吸
- c. 肋間の陥没
- d. 剣上突起下の陥没
- e. 胸壁と腹壁の動きが吸気時同時に上昇

正解 e

67. 新生児の検査として行われていないのはどれか

- a. 聴覚検査
- b. 視力検査
- c. 黄疸検査
- d. 体重測定
- e. フェニルケトン尿症検査

正解 b

68. 産褥について正しいのはどれか

- a. 後陣痛は初産婦に強い
- b. 初乳は IgG を多く含む
- c. 分娩後一過性に発熱を認める
- d. 子宮は 2 週間で妊娠前の状態に戻る
- e. 非授乳婦において授乳婦に比べて月経の発来が遅延する

正解 c

69. 妊娠高血圧症候群について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 初産婦に多く認められる
- b. 妊娠 20 週未満で発症することが多い
- c. 子痛予防に硫酸マグネシウムを投与する
- d. 日本における発生頻度は全妊娠の 30% である
- e. 治療として 1 日 3g 未満の厳格な塩分制限が必要である

正解 a, c

70. 胎児発育遅延について正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a. 分娩は必ず帝王切開で行う
- b. 均衡型は胎児原因であることが多い
- c. 不均衡型は胎児染色体異常で起こりやすい
- d. 治療として母体へのブドウ糖の投与を行う
- e. 児の神経発達異常や学習障害などを合併することがある

正解 b, e

71. 児の奇形を予防するために母体への投与が望ましいのはどれか。

- a. 鉄
- b. 葉酸
- c. ビタミンA
- d. ビタミンD
- e. カルシウム

正解 b

72. 母体合併症で児にも一過性に同様の症状を呈する可能性が少ないのはどれか。

- a. 重症筋無力症
- b. 甲状腺機能亢進症
- c. 慢性関節リウマチ
- d. SLE
- e. 特発性（免疫性）血小板減少性紫斑病

正解 c

73. 糖尿病合併妊娠の児の合併症として考えにくいのはどれか

- a. 奇形
- b. 巨大児
- c. 羊水過多
- d. 分娩外傷
- e. 新生児高血糖

正解 e

74. 流産について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 初期流産の原因で最も多いのはウイルス感染である。
- b. 子宮頸管無力症は後期流産の原因となる
- c. 妊娠12週以降の流産が約80%を占める
- d. 流産率は10-15%程度である
- e. 流産を繰り返すことはない

正解 b, d

75. 早産の頻度はどれくらいか。

- a. 1%
- b. 5%
- c. 15%
- d. 50%
- e. 90%

正解 b

76. 早産について誤っているのはどれか。

- a. 早産は増加傾向にある
- b. 早産の原因として子宮内感染が多い
- c. 治療薬としてインドメサシンを用いる
- d. 補助診断として子宮頸管長の測定が有用である
- e. 副腎皮質ステロイドホルモンを投与することがある

正解 c

77. 子宮外妊娠の全妊娠に対する発生頻度はどれくらいか

- a. 0.01%
- b. 0.1%
- c. 1%
- d. 10%
- e. 25%

正解 c

78. 前置胎盤について正しいのはどれか

- a. 帝王切開の既往があると癒着胎盤をきたしやすい
- b. 激しい腹痛を伴う出血をきたす
- c. 年齢はリスク因子ではない
- d. 内診にて胎盤の確認をする
- e. CT 検査が有用である

正解 a

79. 双胎妊娠について正しいのはどれか。2つ選べ。

- a. 本邦での発生頻度は30年前より増加している
- b. 双胎間輸血症候群では羊水量の差を認める
- c. 一卵性双胎は一絨毛膜性双胎となる
- d. 分娩様式は帝王切開術を選択する
- e. 単胎より新生児予後は良好である

正解 a, b

80. 羊水過少の原因はどれか。2つ選べ。

- a. 前期破水
- b. 母体糖尿病
- c. 胎児食道閉鎖
- d. 胎盤機能不全
- e. 胎児十二指腸閉鎖

正解 a, d

81. 羊水過多の原因はどれか。2つ選べ。

- a. 前期破水
- b. 母体糖尿病
- c. 胎児尿路閉鎖
- d. 胎盤機能不全
- e. 胎児食道閉鎖

正解 b, e

82. 肩甲難産をきたしやすいのはどれか。

- a. 母体糖尿病
- b. 胎児発育遅延
- c. 母体SLE合併
- d. 胎児ダウン症合併
- e. 母体卵巣腫瘍合併

正解 a